風土記 産業……■

やきものゝ秘訣は 一火、二土、三細工

小岱焼の城島さん

小岱焼の城島（平次郎）さんが、戦前熊本の上通町に、三十五年も住んで陶器店兼食堂を経営していた有田屋のご主人だと知つたことは、最初の驚きであつた。明治十五年生れで日露戦役にまで出たというからもう八十幾つのはずだが、それでいて仕事に打込む情熱は烈々たる若さ、これが第二の驚き、応接間兼陳列室に壁面まで埋めた作品のしぶい美しさ、堂々たる意欲、それが第三の驚きであつた。

×

もともと佐賀県有田の生れ、陶業は父祖の代から血脈にうけついだもので、熊本でも大江町の旧元田男爵家あとに窯をつくつていた。

大牟田に引つこして約十年、戦争に入つてから軍部の要請で、現在の地に軍関係のホテルを経営し、終戦後は一時製塩にも手をつけた。しかし娘さんを亡くしてから一切の仕事をやめて、なつかしい窯のふるさとへ帰つてきた。

もつとも始めのうちは全くの趣味で、商買にしようなどとはさら〳〵思つていなかつたが、昔とつた杵柄の上にもと〳〵好きな道だし、凝り性なので研究心は人一倍旺盛、作品はめき〳〵その質を上げ量を増した。

ジャーナリズムが取上げる頃には、もうかくれもない荒尾名物となり、二、三年前からはいやでも商買にする外なくなつた。

×

〃小岱山には二千年も前につくつた原始的な窯のあとがあつて現に出土品も残つています。それというのもこゝの土が鉄、石英、雲母など陶土に必要な成分を適当にふくんでいて、理想的だからです。この立派な土を生かしてよい陶器をつくり出すのは、私たちの使命だと思つています。〃

×

仕事の話になると城島さんは年令を感じさせない。眼を輝かせ膝をのり出す。

〃やきものは一火二土三細工といいまして、先ず火加減が大切です。燃料は松に限りますが、それは炎がやわらかく、かまの中を万辺なくまわるからです。火の質によつて渋味とか光とかもかわつて来ます。〃

×

城島さんは今火を入れている窯を見せてから、仕事場に案内した。

沢山の素焼の中に、直径一米もある菊花形の大鉢がいま製作中だ。

〃国際見本市で西独のハノーヴアーから注文を受けたもんです。これに豚の丸煮を盛るんだそうですが、こんな大形のものは一寸類がないでしよう〃

城島さんの個展はこの十月毎日新聞の主催で先ず荒尾に開き、次いで福岡が予定されている。世間は改めて私同様の驚きを経験するにちがいない。**写真は西独へ送る大鉢を製作中の城島さん（広報課）**

△皆さんの質問箱▽

敬老年金と福祉年金

問 私は、満八十九才で昨年から県の敬老年金を貰つているのですがこんど国民年金法による福祉年金が十一月一日から開始されることになつてもやはり今までどおり県の敬老年金は貰えるものでしようか。

答 あなたは、県の敬老年金を、昨年は貰つておられますので、福祉年金が支給されることになつても、今年の分、つまり昭和三十四年度分の敬老年金三、六〇〇円は貰えることになります。

国の福祉年金が、満七十才以上のものに適用されますので、本来ならば、県の敬老年金も同じ県民の税金なのですから、なるべく重復をさけて、廃止することも考えられたわけです。

しかし国民年金法では、色々な条件があつて、なかには支給されない方もありますので、この方々には、折角の老令年金も直接恩恵に浴さないことになりますから、県敬老年金は、こうした方々に差し上げることにして、「県敬老年金等給付条例」の一部が改正されました。

即ち、十月三十一日現在で、満八十八才以上の方は、国の福祉年金も県の敬老年金も貰えます。

しかし十一月一日以後に満八十八才になつて国の福祉年金を貰われる方は、県の敬老年金は貰えないことになりました。

（社会課・国民年金課）

国体事務局だより

（カツト写真は国体宝くじのポスター）

国体の東総務主事が来県

九月三日と四日の両日、国体総務主事東俊郎氏、日本体育協会主事竹田幸夫氏が来県。荒瀬ダムの漕艇競技場及び、開閉会式場に使われる水前寺競技場をはじめ、熊本市内の各競技場視察が行われた。

総括的には、〃準備の状況は順調で、県や各開催地の現在の計画を、計画通り進めて貰えば結構である〃という意見であつた。

駐車場をどこに……？

車さばき・人さばきに苦心

○…水前寺競技場は、開閉会の式場となるが、競輪場、野球場と密接しているので約五〜六万人の人々と、六百台に及ぶ車輌のために、非常な混雑が予想される。そこで選手、一般観客は巡回、あるいは少し離れた道路へ駐車することなどで解決したいが、報道班、来賓、役員等の約二百台の駐車場は、現在の野球場を利用するほかには適当な場所がないのでこれを駐車場として使い、野球場は藤崎台に県営で新設する計画が樹てられた。

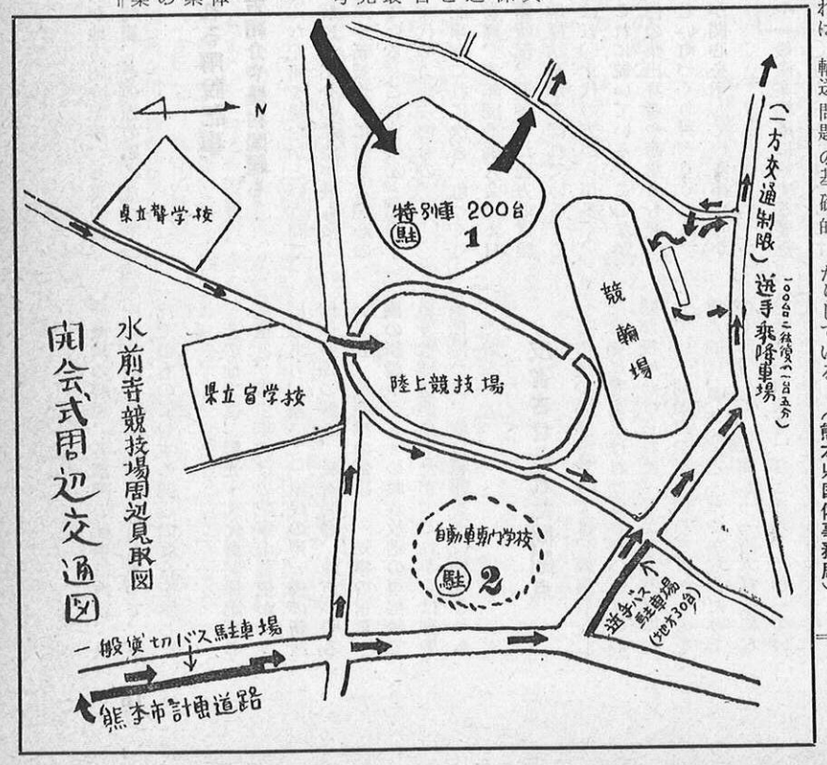
この場合、マスゲーム参加者約六千名の集合場所は、競輪車券売場、自動車学校、盲・ろう学校などを利用することとなる。（下図参照）

○…その後、熊本市においては、選手輸送の巡路の改善をはかり、しかも、水前寺地区の発展のためにも資するということで、工業高校前に計画道路をつくる意向のようである。

もしこの道路ができれば、一般貸切バスの駐車も競技場に近くなり、輸送問題の一歩前進であるので、県としては賛意を表している。

○…又、この道路ができれば、前に述べた方法とは逆に、現在の野球場をマスゲームの集合場所か選手の控場とし、自動車学校を二百台の特別車の駐車場としてはどうかということも一応考えられるが車さばきや、人さばきなどの点で夫々一長一短があるので、国体事務局としても色々検討を重ねている。

○…しかし、要するに藤崎台分院跡に野球場が実現すれば、輸送問題の基礎的中であるが、すでに沢山の作品が寄せられている。〃切は十月十日であり、多数の応募が期待される。

〃国体に夢が役立つ宝くじ〃

国体開催には多額の経費を要し、どうしても四千万円程度は経常財源に不足を生じる。大口募金も考えられているが、先ず西日本宝くじの売上増によつても二千万円程度の収益をあげたいと考え、九月中旬から宝くじ売りのボックスも設けたりしている。（熊本県国体事務局）